

充電インフラシステムと 取組み事例のご紹介

平成23年10月6日

CHAdeMO協議会 第10回「整備部会」資料

兼松株式会社

配布資料と発表資料の内容が
若干異なることが御座います。

禁複製・禁転載 兼松株式会社

2011.10.6

目次

1. システムのご紹介

2. 取組み事例のご紹介

3. 今年度の事業

環境省 平成23年度地球温暖化対策技術
開発等事業 「EVタクシーの実用化促進と
運用方法確立のための実証研究」

1. システムのご紹介

禁複製・禁転載 兼松株式会社
2011.10.6

システムの主な特徴

- システムの機能
 - 携帯・スマホとサーバーの連動
 - 有効チケット購入
 - ダブル認証方式
 - 予約機能
- システム管理者機能
 - 遠隔操作
 - 管理権限の付与
- 設置・運用実績

遠隔操作(イメージ図)

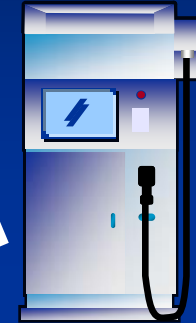
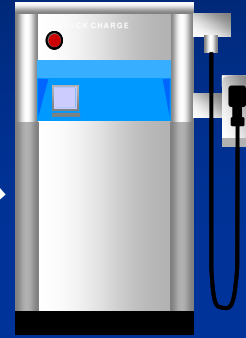
【遠隔操作の選択肢】

充電時間

充電器利用のON/OFF

価格設定

画面切り替え時間 等



※ 通信が繋がらない場合でも、充電器がスタンドアロンでご利用頂けます。

管理権限付与(イメージ)

保守オペレータ



- 【閲覧欄権限】
- ・ユーザー情報
 - ・お問い合わせ一覧

現場作業員



- 【閲覧欄権限】
- ・ステーション情報
 - ・充電器情報

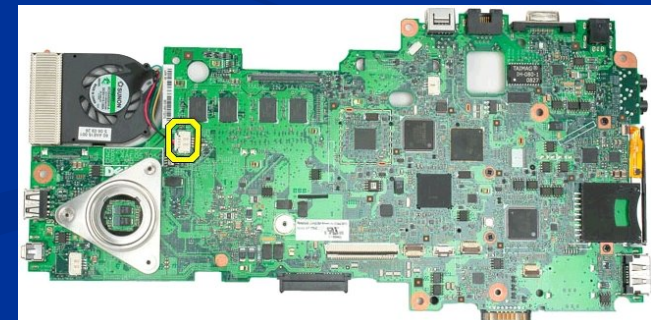
管理者



- 【閲覧欄権限】
- ・全ての情報

設置・運用実績

- 充電器接続機種：
急速 8機種 普通 2機種（年内予定）
- システム連携総数：
急速 23箇所 普通12箇所（年内予定）
- 会員数：
238名



禁複製・禁転載 兼松株式会社
2011.10.6

2. 取組み事例のご紹介

禁複製・禁転載 兼松株式会社
2011.10.6

2. 取組み事例

平成22年	京都府	充電器の設置・運用(システム連携稼動)
	京都府	京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部 観光WG活動(京都エコ観光モニターツアー)
平成23年	京都市	市内充電器10箇所の満空情報を京都市公用車のカーナビに配信
	京都乗用自動車協会	EVタクシー専用乗り場に満空情報配信システムを設置
	大阪・京都	システム連携(日本ユニシス様)
	大阪府	大阪府電気自動車(EV)タクシー普及・啓発事業
	大阪	JR大阪駅EV・HVタクシー乗り場に急速充電器を設置
	秋田県	あきた次世代自動車実証コンソーシアムに参加

3. 今年度の事業

環境省

平成23年度地球温暖化対策技術開発等事業
「EVタクシーの実用化促進と運用方法確立の
ための実証研究」

3. 今年度の事業

- 環境省 平成23年度地球温暖化対策技術開発等事業
- 「EVタクシーの実用化促進と運用方法確立のための実証研究」

EVタクシー 京で普及実験

日産や兼松など 来年から

電気自動車（EV）タクシーを効率的に運用するための実証実験が来年1月から、京都府内の急速充電器設備を活用して行われる。スマートフォン（多機能携帯電話）による呼び出しや充電器の空き情報を基に充電を指示するシステムの構築でEVタクシーの普及促進を図り、温室効果ガス削減を目指す。

日産自動車と兼松、携帯電話管理システム開発のモーション（東京都）、環境・エネルギーコンサルティンクのリサイクル（同）、タクシー配車システム開発のシステムオリジン（静岡市）の5社が共同で実施。2年計画の事業で本年度は環境省の補助金、億2800万円を受け、事業では、スマートフォンでの呼び出しソフトや、呼び出しに応じたの車載タブレット端末用ソフトを開発。それらとEVタクシー配車システムを用いて、乗客とタクシーを適切にマッチングできるようなシステム構築。電池残量や充電器の予約情報を把握し、近隣の空いている充電器使用を指示するシステムも構築。走行距離の短いEVの空車を待機時間を抑え、充電待ち時間も削減できる。実証実験では、府や京都市が設置した充電器計17基を活用する。充電器を通信ネットワーク化し、EVタクシー約20台を走らせて実車率や利便性、環境効果を検証す

充電器効率活用システム構築

空車や待ち時間削減

乗客にも実際にシステムを使ってもらう。府内は府内のタクシー会社に実験への協力を促し、市は中心部や観光地でEVタクシー待機場所を提供する。今回のシステムが実用化されれば、EVタクシーが普及し、流し走行も減ると見込まれる。市は「環境改善と渋滞緩和が図れる」、府は「タクシーだけでなく一般のEV利用者も利用できるようになるれば」と期待する。5社は大阪府内でも同様の実験を行う。モーションのEVプロジェクト担当は「EVタクシーの営業機会を最大限に創出するシステムで、一番の目的は温室効果ガスの削減。早期の実用化を目指したい」としている。

（大西保彦）

ありがとうございました。

本件に関するご連絡先：

兼松株式会社 情報・産業電子部

青田 敏明 / 五ノ坪 良輔

Tel: 03-5440-8066 / 8035

Email: toshiaki_aota@kanematsu.co.jp

ryosuke_gonotsubo@kanematsu.co.jp